

第445号 2018年3月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

大連理工大学（中国）教員交流プログラム招へい教員による特別講演会のお知らせ

弘前大学と大連理工大学（中国）は、2009年（平成21年）に大学間交流協定を締結しました。2016年（平成28年）からは、教員交流プログラムを開始し、毎年双方の教員の受入れと派遣を行い、活発な教育研究交流が続いています。

このたび、このプログラムにより大連理工大学から2名の先生方をお招きし、特別講演会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 平成30年3月28日（水） 14:30～17:00

【場所】 理工学部1号館 4階 7番講義室

【講演】 ○第1部

演題：「中国におけるエネルギー・環境問題と対策」

講師：大連理工大学能源与動力学院 寧 亜東

(NING YADONG) 教授

※日本語による講演

○第2部

演題：「Transport phenomena in membrane distillation by electrospun fibrous membranes」

講師：大連理工大学能源与動力学院 郭 飛 (GUO FEI) 教授

※英語による講演

【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。

※事前申し込みは不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL：0172-39-3114

E-mail：jm3114@hirosaki-u.ac.jp

2017年度 教員交流プログラム 招へい教員

大連理工大学
特別講演会

【第1部】 講演は日本語で行われます。
「中国におけるエネルギー・環境問題と対策」
大連理工大学能源与動力学院
寧 亜東 教授

【第2部】 講演は英語で行われます。
Transport phenomena in membrane distillation by electrospun fibrous membranes
大連理工大学能源与動力学院
郭 飛 教授

2018年
日時 **3月28日(水)** 14:30～17:00
場所 **理工学部1号館 4階 7番講義室**
事前申し込みは不要です。学生、教職員、どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先 弘前大学理工学研究科-助教 手 濱 Tel: 0172-39-3536
弘前大学国際連携本部 Tel: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



新学術領域研究「動物における配偶子産生システムの制御」の国際シンポジウム開催のお知らせ（再掲）

新学術領域研究「動物における配偶子産生システムの制御」の国際シンポジウムを農学生命科学部研究推進セミナー事業との共催で開催します。

今回はUniversity of Wisconsin-Madison のPhillip Newmark先生を招聘して、プラナリア、マウス、ショウジョウバエを材料にした生殖細胞形成機構や分化万能性の研究について、それぞれの分野で活躍している研究者とともに話題を提供します。

発表は英語で行なわれますが、Speakerにはなるべくゆっくり話すようお願いしてありますので、学部学生の皆さんでも関心のある方は是非参加してください。

Phillip Newmark先生はプラナリア生殖細胞研究の世界的権威の先生です。

【日 時】平成30年3月29日（木）13：00～17：00

【会 場】弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

【対 象】どなたでも参加いただけます。

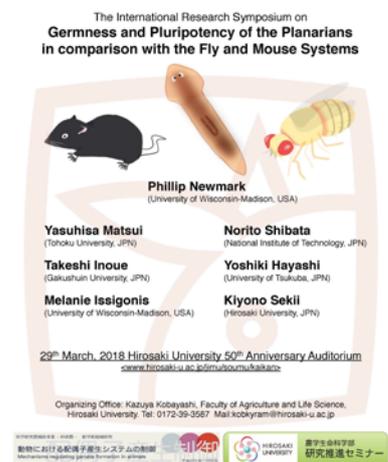
【参加費】無料

【申 込】事前申込は不要です。

【問合せ先】

弘前大学農学生命科学部生物学科 准教授 小林一也

E-mail kobkyram@hirosaki-u.ac.jp



『第14回臨床糖鎖研究会』について（再掲）

日 時：平成30年3月30日（金）18：00～20：00

場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター

参加費：無料

対 象：教職員 学生 大学院生 糖鎖の興味がある方



弘前大学資料館第18回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第18回企画展「弘前×フランス 外国語教育×フィールドワークの可能性」を2月21日より4月28日まで開催いたします。

「複数言語・複数文化教育プロジェクト（フランス語モデル）」（2014年度以降の通称：「弘前×フランスプロジェクト」）は、他の外国語教育や地域活性化に応用できるモデル構築をめざし、多言語・多文化環境になかった地方都市＝弘前で、フランス語（文化）をきっかけとした人づくり、まちづくりを試みてきました。

学会では「自分たちで創り出すフランス文化（多文化）」、「町を発見するためのフランス語（外国語）」の可能性を問いかける先行例として紹介され、新しい発想の教育研究グループが生まれたり、学生主体の学びの取り組みとして他県の教員・学生が交流研修で弘前を訪れたりし、教育研

究の大学間交流につながりつつあります。その一区切りとして、関連事業も含めた4年間の取り組みの概要を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第18回企画展

「弘前×フランス 外国語教育×フィールドワークの可能性」

会 期：2018年2月21日（水）～2018年4月28日（土）
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

- ・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432
E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp
- ・弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
電話：0172-39-3198
E-mail：irrc@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第18回企画展
「弘前×フランス」
外国語教育×フィールドワークの可能性
2月21日から4月28日まで
開館 10時から16時 日曜・休日は休館
入館料 無料
〒030-8585 弘前市青森町1-1
弘前大学資料館
TEL 0172-39-3432
FAX 0172-39-3433
E-MAIL irrc@hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第47号」

<http://www.janu.jp/report/koho/47gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029